

受入先	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 8 年 2 月（着任 2 年 8 カ月目）
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 西穎娃駅での駅弁まつり開催 2 MY LOCAL ACTION プログラムへの参加 3 今後の展望について

1. 西穎娃駅での駅弁イベント開催

2 月 15 日に、西穎娃駅で「西穎娃駅 駅弁まつり」を開催しました。きっかけは、当市で活躍されている先輩隊員や移住した方から「西穎娃駅で駅弁まつりをしたら面白いのでは」という提案でした。

「駅弁」といっても実は定義が曖昧（最近では駅で売っている弁当とは言えないほど多様化しています）でしたので、駅弁を日本の文化にしていく取り組みを行っている方が決めた「販売している場所で親しまれている料理が入っていること」「掛け紙をかけていること」をもとに動きました。

2 つの条件に見合う弁当を作っていただける業者の選定や出店交渉、販売する個数や方式はどのようにするか、宣伝方法はどのようにするかなど、決めていくことの多さに驚きながら、きっかけをいただいた方々や同じ協力隊員とともに一つ一つ進めていきました。

メンバーを集めて会合を開いて決めていくたびに、思いが形になっていくことや、絶対に成功させたいという思いを感じました。

出店業者は 6 業者となりましたが、鉄道が通っていない知覧、川辺地区からも出店にご協力いただけたのは、大きな喜びでもあり、期待の意味合いもあふれることを感じました。

開催日が川辺二日市と重なったこともあり、川辺地区の出店者が参加できるかどうか気をもみましたが、全部の出店者が出店可能との連絡を受けたときは、とても嬉しかったです。

お弁当だけではなく、かつて駅弁とともに売られていた懐かしの容器に入ったお茶を販売している出店者、郷土のお菓子を販売している出店者、郷土料理を勉強した方々（普段は違う食品を作っていますが、この日のために作っていただきました）の郷土菓子も出店していただきました。

当日は、雨予報を覆すほどの晴天となり、販売前から多くの方々に来場していただきました。用意していた駅弁は販売開始から 30 分ほどで売り切れる結果となりました。完売

後に楽しみに来られた方も多く、申し訳ない気持ちになりました。

また、駅事務室を特別に開放して開催した鉄道模型運転会やJRグッズ販売も多くの方に来ていただけたのは嬉しかったです。

来場していただいた方々はもとより、開催のために尽力していただいたメンバーや出店にご協力いただいた出店者の方々、当日の準備や後片付けを行っていただいた方々に、この場を借りて御礼申し上げます。



2. MY LOCAL ACTION プログラムへの参加

地域おこし協力隊は「職業」ではなく「立場」である。との言葉に、改めて自分自身を認識する研修に参加しました。

地域で活躍するための要素を学ぶことができました。インタビューした隊員の良いところなどを他己紹介から始まり、自分自身のあり方、卒業した先輩隊員からの事業の起こし方や資金について、今後の行動について発表するという中身の濃いプログラムを行いました。もうすぐ卒業となりますが、自分のこれまでの振り返り、新たな方向に進むための一歩を踏み出せる研修でした。



研修の様子(2枚とも)

3. 今後の展望について

指宿枕崎線を活用した地域活性化について今後の展望を引き続き書いていきたいと思いをします。

地域の方々との連携を深めていくことで、100人の一歩を創り出すことです。

地域の方との連携を深めていく大切さ。これまでのイベントを通じて感じたことです。イベントを行うにしても、地域の方の理解や協力があったから、多くの来場者にお越しいただきました。告知案内をしたときに温かく受け入れてくれて、お店に貼っていただいたのは、理解や協力があったからであると感じています。

西穎娃駅や指宿枕崎線沿線を知っていただくための取り組みの一環で行ってききましたが、これからも継続して行うことで協力していただける方を増やし、駅や沿線で何か面白そうなことを行っていると記憶にとどめていただき、次の行動につなげることで、100人の一歩が生まれてくることを確信しています。